

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 单元ごとに決めたキーフレーズを使って、友達や先生と会話を続けることができるようになってきた。
- ・ 外国人講師を活用して、プレゼンテーションの仕方、異文化理解、国際理解につなげることができた。
- ・ 学習の振り返りを丁寧に行い、児童一人一人が目標をもって授業に臨むことができた。

(2) 課題

- ・ 单元のまとめのプレゼンテーションで、新出表現は使う意識が高くて、既習表現の使う意識が低い。
- ・ 慣れ親しんだ音声を、手本を基に書き写すということが難しい児童がいる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第6学年	+2.1	+4.5	±0

(2) 分析（観点別）

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 目標値を3.5%以上上回った。語句理解、会話のやりとりはよくできている。一方で、小文字、月名、施設などの知識の定着が低い。	・ 選択問題は概ねよくできているが、与えられた情報を基に、英文で書き表すことについては目標値よりも正答率が下がっているものが多い。	・ 学習に対して、自分なりの目標を立てて取り組むことができているが、自分の学習の定着状況、進度を把握して学習計画を見直していくことができる児童は少ない。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 英語には、アルファベットそれぞれに異なる発音があることを歌ややり取りを通して理解させ、音とアルファベットを一致させることができるようにする。 ・ small talk の内容を充実させ、既習事項を活用して英語の音やリズムを理解させたり、教師が使っていた言葉を繰り返し発音させたりするようにする。 ・ 「やりとり」を続けるために、相槌を打ったり、共感したりしたことを伝える語句を理解させ、small talk で積極的に使わせる。 ・ 慣れ親しんだ語句については、振り返りワークシートに英文を書いて、音と文字を一致させる機会を設ける。	・ コミュニケーションを行う場面や目的をはっきりさせ、既習表現の言葉を使ったり、新しく学習する言葉の意味を推測したりできる場を授業の始めに設定する。 ・ 児童の思いや考えを丁寧に聞き取り、既習の表現を使って相手に伝えられないかどうか、プレゼンテーションや会話を行う場面で考える機会を設定する。 ・ 相手に自分の思いや考えをよりよく伝えるためには、話す内容の順番を考えさせたり、非言語コミュニケーションの重要性を理解させたりして、発表に向けたワークシートや動画撮影を行わせる。	・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深めたり、自国の文化と比較して特徴を探したりできるように、ALT の出身国の紹介や日本との比較を small talk や warm-up に取り入れる。 ・ 学習課題を自分で設定し、単元の目標に向けて取り組んでいる自分の学習の様子を振り返られるよう、ポートフォリオの要素を加えたワークシートを書かせたり、動画撮影して自分の様子を見直したりする活動を取り入れ、学習を調整する機会を設ける。